

勝

かつひろ

博



水郷 (1963年)

— 中路融人もうひとつの顔 —

令和元年9月7日(土) → 11月17日(日)

会期中の休館日/毎週月曜日(9月16日・23日・10月14日・11月4日は開館)・9月17日・24日・10月15日・23日・11月5日

入館料/大人300円(250円) 小人150円(100円) ※ ()内は20名以上の団体料金

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

勝博 かつひろ

— 中路融人もうひとつの顔 —

中路融人は、1973年に融人と改号するまで本名の勝博という名で活動していました。高校卒業後、大学に進学せず社会人となった中路は、服地のデザイナーの仕事と作品制作を並行する日々を送ります。この頃に発表した作品は、ごつごつとした岩の様な質感と、モチーフのひとつひとつを面でとらえた強い造形意識の表れが特徴的で、デザイナーという職業と、当時興味を持っていた海外の抽象画家の影響が感じられます。

多くの人に知られている中路融人の瑞々しく詩情ある作風に至るまで、どのような変化があったのか、そして不変のものは何か。画塾・晨鳥社入塾後の作品を中心に、中路勝博の時代をひもときます。



- | | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | |
1. 船体 (1960年)
 2. 自画像
 3. 薄暮 (1967年)
 4. 湖北 (1971年)

学芸員による ギャラリートーク

【無料・10月19日は要入館料】

9月28日(土) 17:30~18:00
10月19日(土) 14:00~14:30

特別夜間開館

【入館無料】

9月28日(土) 17:00~20:00

「中山道灯り路」開催に合わせて、夜間開館を行います。

近江商人博物館で同時開催

近江商人の里の女子教育

— 下田歌子から塚本さとへ —

9月21日(土)~12月1日(日)



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

■開館時間/午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日/月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり

■入館料/大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金

■交通機関/・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分

・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分

・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

